

日本臨床心理学会第20期 第四回運営委員会議事録

作成：三島・戸田 2012.12.2

平成24(2012)年12月1日(土)13時～17時30分 ・ 12月2日(日)10時～12時、12時45分～18時00分
於：大阪市立青少年センター(KOKO PLAZA)会議室701(1日)・会議室801(2日)：大阪市東淀川区

出席者：1日：栗原、酒木、佐藤、實川、菅野、鈴木、高島、谷奥、戸田、藤本、藤原、宮脇、百田(13名)

2日：栗原、酒木、佐藤、實川、菅野、鈴木、高島、谷奥、戸田、藤本、宮脇(11名)

欠席者：1日：酒井、田中・2日：酒井、田中、百田、藤原、(宮脇：14時退席、谷奥：15時退席)

委任状：宮脇へ委任(12月2日14時まで：酒井、百田)

議場委任(12月2日14時以降：酒井、宮脇、百田 12月2日15時以降：谷奥)

戸田へ委任(12月2日)：藤原

陪席者：三島(12月2日：大会大連会場担当)・高田(12月1日・2日：会員オブザーバー：2日発言者記録担当)

議長：酒木・戸田(議長補佐)

書記/議事録作成：戸田・三島(事務局補佐)・(1日発言者記録担当：百田)

《審議日時程実績記録》

12月1日(土)

会場準備 12:30～13:05

各委員会等報告 13:05～14:35

議題1) 編集委員会報告

議題2) 研修委員会報告

議題3) 精從懇報告

議題4) ヒヤリングヴォイシス小委員会計画詳細

議題5) 事務局事業報告

事務諸連絡等 17:30～17:35

第二号議案 運営委員会メーリングリスト運用ルールについて 14:35～16:10

第三号議案 運営委員会執行状況の会員への情報公開について 16:10～17:30 (2日の午前に続く)

会場撤収・諸連絡等 ～17:50

12月2日(日)

会場準備 9:30～9:55

議題5) 事務局事業報告への質問回答 9:55～10:25

第三号議案 運営委員会執行状況の会員への情報公開について 10:25～12:00/12:45～14:00/17:20～18:00

付帯議案：虚偽を含む報告(二件)の問題点と今後の再発防止について

第一号議案 臨時総会開催方法について 14:00～14:30

第四号議案 次年度大会について(延期大会に関わる事案) 14:30～17:10

付帯議案：2013年2月の日中合同プレセッション開催について

(第五回運営委員会開催候補日検討 16:30～16:45)

会場撤収 18:00～18:25

議題1) 編集委員会報告: 實川、関連質問: 鈴木・宮脇・藤本・佐藤

広報担当についての確認: HP制作・維持担当予算等も含めて、引き続き前向きに検討課題とする。
具体的な案を田中氏を含めて運営委員から運営委員会に提案してもらう。

HPは、事務局の所管とし、具体的な担当は鈴木氏とする。

議題2) 研修委員会報告: 菅野、関連質問: 戸田・佐藤

議題3) 精從懇報告: 鈴木、関連質問: なし

議題4) ヒヤリングヴォイス小委員会計画詳細: 佐藤

議題5) 事務局事業報告: 戸田、

① 学会財産処分・移管報告

資料: 旧事務所保管財産移管・処分経費一覧

日本臨床心理学会財産移管・処分目録

『臨床心理学研究』BP宇部フロンティア大学移管目録

② 本年度総会反省報告: 運営委員会MLにてのちほど報告

③ 執行部三役の役割の確認: 三役で相談後、運営委員会MLにて議題として提起

④ 渉外担当活動報告: 運営委員会MLにてのちほど報告

一) 事務局事業報告関連質問①: 宮脇: 推進協の学会代表の選出について

(1) 藤本氏を今期の推進協の代表とする

[採決] 賛成: 鈴木・宮脇・佐藤・藤本・高島・菅野・谷奥・栗原・百田・酒井

反対: 戸田・酒木・實川

棄権: 藤原

(2) 酒木委員長に今回(12月6日の総会)への参加

[採決] 賛成: 佐藤・高島・菅野・谷奥・栗原・百田・實川・藤原・戸田

反対: 鈴木・宮脇・酒井

棄権: 藤本

二) 事務局事業報告関連質問②: 藤本: 事務局に届く会員メールへの対応経緯

事務局長は、文書取りまとめの上、12月2日9:55～10:25に、代表例として事務局長が即時対応が必要と判断した2事例の報告を行った。藤本委員より、異なる1件の概要報告と共に資料が配られた。この事例に関する事務局長見解と藤本報告の相違点を踏まえた佐藤委員の事後処理案を、事務局長が了承した。

第一号議案 臨時総会開催方法について

《12月2日 13:00～14:00》

甲案を採用する。

甲案: 2月の大連国際大会(名称未定)プレセッションの際に開催する。(第四号議案と相互関連)

開催はHPにて、プレセッションと併せて告知する。

議案の積み残しが生じないよう、総会後には行事を設定しない等の配慮を必須とする。

第二号議案 運営委員会メーリングリスト運用ルールについて

《12月1日 14:30～16:00》

改訂丙案を採用する。

改定丙案：ルール作成グループを選任し、甲案をたたき台として新たなルール案を作り、MLに提案して意見を募り、最終的に、総員の合意をめざし、対面の運営委員会で決定する。ルール完成までの期間は、乙案により運営を遂行する。

[採決] 対面会議にて決定に賛成：宮脇・佐藤・藤本・高島・菅野・谷奥・栗原・百田・藤原・酒井

ML会議にて決定に賛成：鈴木・酒木・實川・戸田

ルール作成担当者：責任者：戸田、メンバー：實川・鈴木・(田中)・栗原

第三号議案 運営委員会執行状況の会員への情報公開について

《12月1日 16:00～17:00》

会員から情報公開の請求があった場合、事務局長が運営委員会に逐次諮る。個別の事情に則して、運営委員会で、公開の可否とその条件・方法を審議し決定する。

第三号付帯議案：虚偽を含む報告(二件)の問題点と今後の再発防止について

《12月2日 第一件について：10:25～12:00・12:45～13:40、第二件について：13:30～14:00・17:20～18:00》

一) 第一件：第47回日本臨床心理学会大会において、運営委員会企画の中で菅野委員が発言した内容及びこれに関する機関誌の記述(下記)について討議を行った。

『臨床心理学研究』49巻2号のp.44

一委員より、「編集委員会としての議論の経過等の情報は全て、『当時者手記の筆者が誰か』の情報も含めて、運営委員会、さらには会員全員に知らせるべき。」との意見が出されました。

『臨床心理学研究』49巻3号のp.77

大会後、この発言内容はMLの記載通りではなく、「編集委員会としての議論を行うのであれば、運営委員会と会員に公開されるのは当然と考えます。」というML記事が正確であり、「公開されるのは当然」との記述があっても、「知らせるべき」との記述はなかったことを確認しましたので訂正します。

これらの内容は菅野委員の受け取りであり、「一委員」すなわち實川委員がメーリングリスト上に記した内容ならびに当事者本人の受け取りとは異なっていたという誤りを、菅野委員が認め、運営委員会として確認した。個人の文章を扱う際は、記載者の意図を確認する他、厳重に注意する必要があることを委員間で共有した。また、「今後の再発防止」については、第二号議案「運営委員会メーリングリスト運用ルールについて」の検討とも関連することを確認した。

この件は、運営委員会報告の中に会告(見出し)として記す。

二) 第二件[内容詳細は、議案書資料参照]

本件に関わり、宮脇運営副委員長より報告書が配布され、本付帯議案提出者實川委員との質疑が交わされた。宮脇運営副委員長は、本報告に伴う所信陳述の後、運営委員を辞すと表明し、議場を退席した。本件は、他の議案の審議が終了後に、続く討論がなされたが、終了時間となり、継続審議となった。

第四号議案：次年度大会案(今年度大会(大連会場)延期に関わる事案) 《12月2日 14:00～14:30》

第49回大会は、大連大学にて、国際学会として開催する。時期は未定。
時期等詳細は、第五回運営委員会において検討する。

第四号付帯議案:2013年2月の日中合同プレセッション開催について 《12月2日 14:30～17:10》

2012年度日本臨床心理学会臨時総会及び大連大会プレセッションについて
(第48回日本臨床心理学会大連東京大会(大連会場)が延期したことに伴う)

1) 場所:宇部フロンティア大学(山口県)、日程: 2月16日(土)～17日(日)

場所と日程選定の事由: 宋協毅氏の訪日日程・来訪地との兼ね合いによる。

2) 11時発前後に羽田または仙台を出発し、間に合う時間からの開始とする。

3) 臨時総会、懇親会を併催する。

総会準備を丁寧に行う: 活動報告に関する文書を参加者に1月中に配布する。案内を12月15日付で配布(HP、一斉メール、郵送)する。

4) 日程計画

4-1) 2月16日(土)について

午後から臨時総会。夕方から第五回運営委員会(大連大会プログラムの決定と案内内容の検討のみに限定)。夜、懇親会。

4-2) 2月17日(日)について

朝から夕方 プレセッション。3時から、第五回運営委員会の続き(大連大会プログラムの決定と案内内容の検討のみに限定)

5) プレセッションの内容について

精神科領域における症状を幅広く受け止めていく。具体的には、次の領域から幻覚を多角的にとらえる。

5-1) 登壇予定者

佐藤和喜雄氏(ヒアリングヴォイスズ)

高島氏他(生活支援)

小宮山實氏(精神医学)(精神科ディケア、グループの取り組み)

比較民俗学会(民俗学の視点から、幻覚、病、支援、治療、癒し等を考える)

日本の状況を中国の研究者に報告し、中国の人々がどのように思うのかについて指定討論か対談を行う。

中国出身で日本に於いて臨床心理に関する研究を行っている黄氏の談話をうかがう。

5-2) スケジュール

10時から12時半 30分ずつ発表(休憩を取り入れながら)

13時半から14時 黄氏の指定討論

14時から14時半 宋氏と酒木氏の討論

14時半から15時 ディスカッション

15時から 運営委員会

その他決定事項) 第六回運営委員会開催日が決定した。2013年4月20日(土)・21日(日)に大阪市にてとする。

確認事項) 第三号付帯議案の第二件が、継続審議となった。

以上